

千葉資料救済ネットとは

- 災害時などに、団体・個人による資料救済活動をスムーズに推進するために、**2012年3月に結成されたボランティア団体**である。**県内の関係機関・学会・自主的集団・他県の資料ネット等との連携を推進し、有効な救助活動を実現することを目的に、救済体系から漏れる恐れがある民間所在資料を主な対象**として活動する。
- **会員数は4団体・112名**（2022年現在）、2016年より共同代表を置き（久留島浩・檜皮瑞樹・小関悠一郎）、事務局は千葉大学小関研究室に置いている。

2023年度の活動

「宮崎県立妻中学校関係資料」の保存と移管に向けた取り組み

「宮崎県立妻中学校関係資料」とは

〈資料の概要について〉

- **2016年の千葉県富津市菱田家**での資料保全活動時に発見。
- 菱田忠義氏が**妻中学校**（現・宮崎県立妻高等学校）の教員を務めたことに関係して伝存した資料。
- **昭和13～15年度の資料が中心**。
- 文書箱13箱分、**資料数は1000点以上**。
- 「**遠隔地所在地域資料**」である。（深い関わりを持つ地域から隔たった、直接的な日常的交流が非常に少ない地域に伝来・現存する地域資料）



「夏休日誌」（左）と「禮組級長日誌」（右）

〈資料の内容について〉

- 文集、生徒の作文原稿、学級日誌、生徒個人の日記、学校行事・運営、地域、軍事、試験問題、答案、ポスター等の教材、個人書簡
- **妻中学校の学校運営に関するものから、生徒個人の学習活動に関するものまで、多岐にわたる**

2023年度総会・勉強会の開催

- 2023年7月17日（日）、千葉大学で開催
- 「**宮崎県立妻中学校関係資料**」の資料整理作業を実施
- **高校生、学部生、大学院生、教員など、さまざまな人が参加しての作業となった**



〈参加した高校生の感想〉

- 目録作成や資料の整理など学生にはめったにできない経験をさせていただいたのでありがたかった。
- 古文書に興味を持つ機会になった



〈勉強会の様子〉



2023年度の成果

- 移管先が決まらない状況のなか、昨年、宮崎市で開催された全国史料ネット研究交流集会をきっかけに、**宮崎県立図書館への資料受け入れが決定**。先日、**寄贈に向けた資料整理作業が終了、移管へ**。

お問い合わせ

事務局 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
千葉大学教育学部小関研究室
電話番号 043-290-2550
メール chibasiryounet@gmail.com

ブログ▶



X (旧Twitter) ▶

